

# 春の農作業安全確認運動 2013年 始まって がいます

交通事故や労働災害による死亡事故が減少するなか、農作業による死亡事故は毎年約400件程度発生し続けており、減少の兆しがみられません。事故件数を減少させるため、事故が多発する春作業の期間を農作業安全対策の重点期間として、農林水産省が主体となって「春の農作業安全確認運動」を展開しています。

農作業事故は、トラクターなど農業機械の運転操作の誤りによる転倒や転落が多く、60歳以上の方の事故が目立ちます。農作業事故を防ぐためにも、以下の点に注意しましょう。

- ① 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト着用を徹底する。  
転落・転倒事故の際に、安全キャブ・フレームの有無で負傷率が違います。
- ② 作業環境を確認し、危険性に配慮する。  
トラクターは直角の向きで入退出をし、また、危険が潜む場所は草刈りで見通しをよくしましょう。
- ③ ブレーキペダルの連結を確認する。  
作業が終わったら、昇降路を上がる前にブレーキ連結ロックをかけるようにしましょう。
- ④ 万が一の事故に備えて、家を出るときは携帯電話を必ず持ち歩くようにする。  
1人作業中の事故で、携帯電話を持っていたために救命につながった事例が多数あります。



**問い合わせ先** 札幌市農業支援センター Tel.787-2220

## 市民農業講座 「さっぽろ農学校」専修コース が開講しました

平成25年度市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コースの開講式が、4月6日に行われました。24名の受講生は、11月の閉講式まで実習43回、講義23回を受け、農業に関する知識や栽培技術の習得を目指します。平成13年度からスタートしたこの講座の修了生のなかには、農業者として就職した方や農業ボランティアとして活躍されている方などがおり、多くの修了生が農業と関わりのある活動をされています。本年度の受講生も、将来の夢の実現に向けたスタートをきりました。



**問い合わせ先** 札幌市農業支援センター Tel.787-2220